

業界の底力を示す絶好機

『プラスチックフェア岐阜』開幕

最新の技術や機器を一堂に展示

岐阜県プラスチック工業組合は、かねてプラスチック産業展の開催準備を進めてきたが、いよいよ9月24日（金）から26日（日）までの3日間、岐阜市六条南の岐阜産業会館大展示場で開幕する。業界あげて開催準備してきたプラスチック産業展の名称は『'82プラスチックフェア岐阜』そのテーマとスローガンは『21世紀への飛翔—企業の活性化を図り、団結してプラスチック産業を振興させよう！』である。これを機会に岐阜県のプラスチック成形業界の底力を内外に誇示することになり、早くもフェアの成果が大きく期待されている。

特別講演会も開催

『'82プラスチックフェア岐阜』は、昭和42年以来開催を中断してきた岐阜県プラスチック産業展を15年ぶりに復活開催するものである。しかも、開催にあたっては展示規模構成を大幅に広げ①県内成形加工メーカーの紹介と製品の展示②新型成形機の展示と成形実演③省資源・省エネはじめ関連合理化機器の展示と実演④プラスチック材料の紹介⑤特別講演会の開催—など、文字どおりフェアと呼ぶのにふさわしい内容。

すでに全国のプラスチック業界関係者は、11月17日から東京・晴海の国際見本市会場で開催されるジャンプラスの前哨戦だとして、プラスチックフェア岐阜の開幕を注目している。また、地元岐阜県のプラスチック業界としても『岐阜県業界のイメージ向上と市場優位性を確保するためのPRと販路（受注先）の開拓を行う絶好のチャンスである』ことから開幕に寄せる期待は大きい。



フェア会場の正面入口に設ける大型アーチ



大展示会場の中央に設けるテーマディスプレイ

早くから開催準備を進めてきた大松幸栄理事長、武藤昭三実行委員長ら工業組合関係者は『名古屋通商産業局はじめ岐阜県、岐阜市、岐阜商工会議所の後援、そして日本プラスチック工業連盟の協賛を得て開幕にこぎつけることがで

組合員の特設コーナー設ける

全員参加で業界のPRと販路開拓

工業組合は『82プラスチックフェア岐阜』の開催主目的である県内プラスチック業界のPRと販路（受注先）開拓を積極的に行うための新しい試みとして『組合員の特設コーナー』を設けることにした。これは展示会場中央部の県内企業コーナー（有料出品）とは異なり、出品料が無料で、県内成形業者なら自由に自社製品を展示できる特設展示コマである。

その特設コーナーは搬出入口に面した北壁面、スペースは間口15メートル（奥行0.9メートル）を予定している。これによって下請企業も零細企業も、県内成形業者が同一の展示会場に生産品を展示、商品内容や技術力を内外にPRするもので、成果が期待される。

協会設立22周年で記念事業

工業組合はプラスチックフェア会期中の9月25日、午前11時から岐阜産業会館5階第1会議室で、団体活動22周年の記念式典を開催する。この記念事業は、二次大戦後、全国に先がけてプラスチック成形加工業が育ち、昭和35年に『岐阜県プラスチック協会』を設立、さらに43年には『岐阜県プラスチック工業組合

』を組織、業界の基盤確立と取り組んできた。ことしは協会スタート以来、22年を経過したことになる。

このためフェア第2日目に、組合員が一堂に会し、さらに新しい発展を誓い合うもの。

この席上、団体活動功労

者を表彰するほか、午後は特別講演会を開催する。テーマは『プラスチックエンジニアリング用途における問題点』（工業技術院・牧広氏）と『プラスチック加工の省エネ対策』（愛知県工業技術センター・雲英恒雄氏）で、いずれも成形業界に関心もたれている課題である。



GPと若葉をデザインしたポスター。下はフェア開催の案内書



秋元産業株式会社

本 社 東京都中央区八重洲5の7
 名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
 TEL <052> 582-5071

地場産業振興計画まとまる

『プラスチック業界の活性化を求めて』

当工業組合は岐阜県が実施する地場産業振興特別対策事業の指定を受け、振興事業を開始した。振興テーマは『プラスチック業界の活性化を求めて』で、いま岐阜県の成形業界が立たされている問題点を探り、振興計画をもとに事業推進しようとするもの。

その振興計画がまとまり、続いて振興事業の実施に入るが、こんど開催する'82プラスチックフェア岐阜はメイン事業である。

振興計画は岐阜県プラスチック業界がめざすべき活性化への道と題して策定され、工業組合

が緊急に取り組みねばならない振興策として、

①岐阜県プラスチック産業展を復活させ、岐阜県業界のイメージ向上と市場優位性を確保するため、PRと販路（受注先）の開拓と取り組むこと。

②岐阜県業界の特性を生かした技術集約型産業の形成をめざす。同時に関連業界との連携を密にし、また、全国業界の動向や消費ニーズなど情報の収集、提供することも重要である。

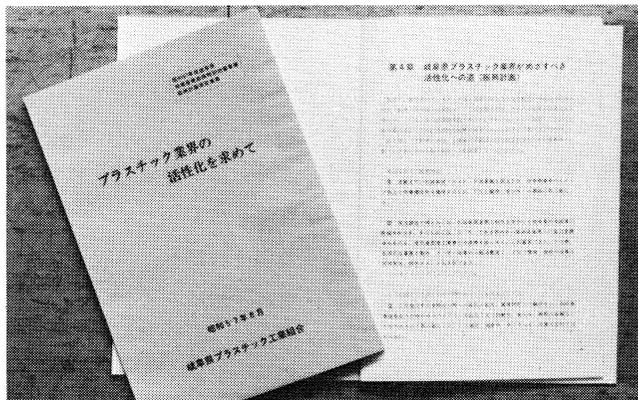
一の2点をあげることができる。さらに個々の企業が自から取り組むべき振興策としては、

③高付加価値製品への移行やコストダウンを図る自動化、省人化納期の短縮と取り組む。同時に省資源・省エネ対策も進める。

④人材教育や徹底した品質管理と生産管理の確立を図る。

⑤支部づくりや組合事業の拡大と共に工組組織の強化と取り組むこと。

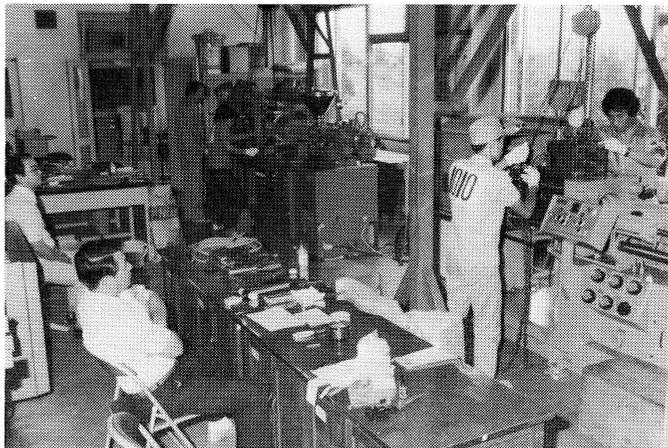
これら事業実施に当って県費補助（350万円）を受けて行う。



振興計画をまとめた報告書

TOSHIBA 東芝機械株式会社

本 社 東京都中央区銀座4丁目2-11
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号
化工機課 TEL <052> 561-8341



技能検定に15人受験

10月に合格者の発表

プラスチック射出成形の57年度技能検定は7月13日から16日まで岐阜県工業技術センターで実技試験(写真)を行った。ことしの受験者は1級1人、2級14人。検定は射出成形機2台を使用、背番号を付けた受験者が一台に一人ずつ作業を行い、検定委員らが採点した。

続いて9月19日には全国統一して学科試験が行われる。検定合格者の発表は、技能検定総合採点審査会のあと、10月中に1、2級とも同時に行われる。

なお、岐阜県下で射出成形作業の技能検定が実施されるようになって合格した人は、1級が5人、2級が57人。その内訳は、昭和49年2級11人。50年1級1人2級7人、51年1級1人2級5人、52年1級1人2級4人、53年2級6人、54年2級5人、55年1級1人2級7人、56年1級1人2級12人となっている。このほ

かFRP成形の手積み積層成形作業の検定合格者が1級1人、2級9人いる。

11月に東京でジャパンプラ

プラスチックとゴムの国際見本市といわれる『ジャパンプラス82・東京』は、11月17日から6日間、東京・晴海の国際見本市会場で開かれる。

出品企業は262社と過去最大の見本市となる。とくに海外から59社も参加する。会場は第1会場から第5会場に分かれ、会期中20万人の入場者が見込まれ、海外からのバイヤーは200人に達する見込みという。



三菱射出成形機 MFシリーズ

350MF・450MF・550MF・650MF・850MF

三菱重工業株式会社

本社産業機械第一部 東京都千代田区丸の内2-5-1 ☎東京(03)212-3111

名古屋営業所 産業機械一課 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル9階) ☎(052)562-2176



◎エチレンの不況カルテル申請◎

石化製品の主原料であるエチレンを生産している石油化学12社は、エチレンについての不況カルテル（生産制限）を結ぶ方針を固め、9月中にも公取へ申請する。業界では10月からカルテル実施に入りたいとしている。

石化業界では不況カルテルの具体案を通産省と話し合いながら決めるが、これまでの検討では①エチレン生産規模を4-6月の93万2千トンから85万トン程度に減らす②60%前後の稼働率を55%程度まで落とす③実施期間を半年間とする一などとしている。

◎ポリオレフィン系樹脂値上げ◎

汎用樹脂の中にあって早くから価格修正機運が高まっていた高圧法ポリエチレン、中低圧法ポリエチレン、ポリプロピレンなどポリオレフィン系樹脂業界は、8月21日出荷分と9月1日出荷分の2手に分けて値上げ実施を明らかにした。

各樹種の値上げ内容は、高圧法ポリエチレンが1キログラム当たり20円、中低圧法ポリエチレンとポリプロピレンが同30円の値上げ。値上げの最大理由は、長期にわたる需要の低迷から市況の値崩れ現象による採算悪化の是正をあげている。これに加えて円安に伴う原料ナフサの値上げが見込まれることから需要期に入る秋口に価格体系の確立をねらったもの。

◎エネ庁がナフサの新用途開発◎

資源エネルギー庁は、通産省基礎産業局に対し、ナフサの新用途開発に関して石油化学業界の協力をとりつけてほしいと要請した。ナフサの新用途開発はエネルギー庁内に設置した『ナフサ新用途開発研究会』が①ナフサを利用でき

る内燃機関の開発②ナフサを原料とするブタジエンの製造技術の開発③有機酸の選択的製造技術の開発④ナフサとアスファルトの混焼技術の開発一など一連のテーマをさらに突っ込んで検討することになったため。

この動きに対して石油業界は、石油製品の合理的な油種別価格体系確立への努力がなおざりになるおそれがあるとし、批判している。

◎信越化・ファインセラへ進出◎

信越化学工業はエンプラのホープとして脚光を浴びている炭化けい素焼結体の新製法を開発し、これを足がかりにファイン・セラミック事業に進出することにした。商品としては近く炭化けい素製メカニカルシールを発売する。

今回成功した製法は反応焼結法と呼ばれ、ダイヤに次ぐ硬さを持ち、かつ高密度・高強度で熱衝撃に強い大型焼結体を得ることができる。同社では歯車、工具、高温用治具、エンジン部材など広範な用途があるとし、順次、商品化する方針である。

◎セラミック成形機の開発競争◎

名機製作所は、世界に先がけてセラミック射出成形機の開発に着手した。新素材革命のエースとしてセラミックが脚光を浴びてきたため、プラスチック加工技術を応用してセラミックを量産加工できる射出成形機の開発に踏み切ったもので、成果が目される。

一方、日精樹脂工業はじめ日本製鋼所、東芝機械などプラスチック射出成形機の有力各社もセラミック加工用の機械の開発に乗り出すものとみられる。こんご京都セラミック、日本特殊陶業、日本碍子などのセラミックメーカーを混えての開発競争が急速に白熱化するものとみられる。

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

長男型市場へのねらい

今春大学を卒業して就職した新社会人の8割が「長男」であったと推定される。

事実、一組の両親が生む子供の数は昭和5年に4.7人だったものが、戦後の25年には3.7人となり、昭和55年には1.8人の人口減少時代へ突入している。子供の数が平均1.8人では長男、長女が増えてくるのは、もう明らかである。

昭和55年度の国勢調査では、これら「長男、長女の時代」とともに、次の三つの大きな変化が見られる。

- (1) 急ピッチで進む高齢化
- (2) 女性の高学歴化（過去10年間で、大学・短大卒が2.2倍）
- (3) 女性の結婚年齢の上昇

この3つを、長男（長女）型市場という視点に含め考えると、市場状況ばかりでなく、企業経営にも大きな影響を与えることは、これまでの次男型市場と比較してもその性格的違いによって大いに予測される。

一人息子、一人娘の時代は、結婚年齢を引き

上げ、独身の時代を長くし、独身者マーケットを形成、増加させる重要な背景となり、それなど豊かとはいえないまでも、流行や好みを気にしなければ、5～6年は暮らしてゆける生活財をストックしているという様な生活状況を考えれば、親元を離れ「ゼロ」から出発した次男型社会に見られる市場は考えられない。

そこで考えられる長男型市場への戦略は次の4つにしぼることができる。

一つは、年間11兆円の市場規模として推定される、シングルズ・マーケットである。大瓶・徳用といった大量消費よりも、大きさを半分にし、値段は半分より高目といった商品づくり。

二つ目は、買替えの促進である。親父の世代の量的充足から、質的な面の追求によるほんもの商品、よりすぐれた商品の開発。

三つ目は、新しい市場を創出する。昨年ヒット商品であったヘッドホンステレオ、スクーター、シャワーコロンのように新たな価値を持たせ、膨らませる。

四つ目は、買増しの促進である。2世代同居3世代同居を考えた、乗用車に見られる一家に2台といった、共有・共用のものを専用化していくための商品の開発である。

（岐阜県工業技術センター・工業デザイン室）

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバドゥール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

新機種揃えて下請けに徹する

田中樹脂工業所



今回の工場訪問は、各務原市那加楠町5にある田中樹脂工業所（田中光夫代表、個人経営）を訪ねた。工場是那加町にある旧岐阜大学本部前を南へ入った住宅街にある。

田中光夫さん その規模は成形工場（写真右）倉庫など合わせて165平方メートル。田中さんがここに工場を建てたのは昭和46年11月。当時は周辺に住宅は1戸もなく田畑ばかりだったという。

田中さんがプラスチックと出会ったのは43年。九頭竜川の最上流、といっても郡上郡白鳥町との県境に近い和泉村から各務原市へ移住して何か技術を身に付けようと、選んだのがプラスチック。縁あって東和化成の納土さんのもとで成形加工を見習い、3年間の技術修得後、46年11月に独立した。

日用雑貨品ばかりを手がける

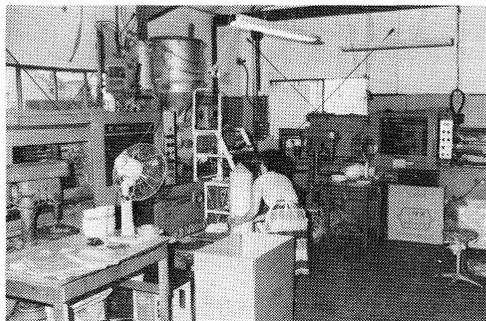
独立し、工場を建設したとはいえ、最初は5オンスのインジェクション1台。しかも、あいにく第一次のオイルショックで、原料樹脂がなかなか手に入らない時期。幸い納土さんの好意もあって箸立てやシール容器など日用雑貨品の成形を手がけた。それから1年ほどして岐阜会員となり、岐阜プラスチック工業の仕事を手がけるようになった。とくに同社のヒット商品であるテレビアンシリーズやノーブルなど

の卓上セットの生産に参画してきたという。

地道に下請けに徹して10年を経過したわけで、田中さんは『後発企業だから厳しいのはあたりまえ。親企業の要請にこたえてきた努力が認められ、仕事はとぎれることはなかった』と振り返っている。

新機種をもう一台増やしたい

現在、岐阜県下の射出成形の二級技能士は57人いる。田中さんはその一人で、県で検定が始まった2年目の昭和50年に合格している。日進月歩の機械や樹脂、さらには新しい製品を生産するには技術がまず大切だとして、必死にな



って技能検定を受けたのだという。技術を身に付けようという田中さんの心意気が、こんなところにも現われている。

工場は独立当初の成形機は最新型に更新されて、5オンス2台がフル運転。近年の傾向としては、さきの活路開拓調査事業でも明らかにされたように『多品種少量生産』になってきたのが悩み。このため色替え、型替え時の時間と材料のロスをいかに少なくするかが大切なポイントだという。そして現在の人員で、新型成形機をもう一台増やしたいとも話す。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□開幕まであと一步、がんばって……□

とうとうプラスチック産業展は開幕を迎えました。この会報が組合員の皆さんへ届くころは開会日へ旬日と迫ることでしょう。プラスチックフェア実行委員会の本部をかねる工業組合事務局は、最後のチェックに大忙しというところ です。今後のスケジュールは次のとおりです。

9月22日午前10時 Aコマ関係搬入開始

9月23日 “ Bコマ関係搬入開始
組合員の搬入開始

9月24日午前10時 会場入口で開会式
“ 11時 5階で記者会見

9月25日午前11時 記念式典
午後 1時 記念の特別講演会

9月26日午後 4時30分 入場閉鎖
“ 5時 打ち上げパーティー

9月27日午前 9時 搬出開始

□会場内に組合員企業の一覧表を掲示□

プラスチックフェアの組合員特設コーナー(参加無料)への出品物を各担当委員が集めて回ります。1社につき5点以内です。組合員の積極的な参加によって岐阜県の成形業界の底力

を誇示しようではありませんか。岐阜県業界のPRの方法としては、出品物展示のほか入場者へ組合員名簿を配布するほか、会場内に工業組合員の企業一覧表を掲示し、販路や受注先開拓の一助とする計画です。

□会期中は専用電話2本を開設します□

プラスチックフェアの搬入開始になりますと岐阜産業会館の外は混雑します。また、事務局も大混雑が予想されます。組合員の皆さん、何かとご協力下さい。とくに会期中は、

専用電話 0582(72)0857~8
を開設します。ご利用下さい。

□新事務員の小森米子さんをよろしく□

この1年間、事務局員として働いていただいた新井千鶴さんは退職され、新しく小森米子さんが入りました。若くて、美しい、未婚の女性です。よろしくお祈りします。

岐阜県のプラスチック
1982 49号

昭和57年9月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

出光

の石油化学製品

◎取扱品目 中低圧ポリエチレン
ポリスチレン ポリプロピレン
高圧ポリエチレン カルブ®
ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

三菱油化株式会社

取締役社長 吉田正樹

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)
TEL (03) 283-5689(代)
名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル5階)
TEL (052) 563-5641(代)

ポリエチレン
スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂
エバテート®

ポリプロピレン
住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂
エスブライト

塩化ビニル樹脂
スミリット®

メタアクリルシート
スミペックス®

メタアクリル樹脂
スミペックス-B®

高密度ポリエチレン
スミカセンハード

熱可塑性エラストマー
住友®TPE

合成ゴムSBR
住友®SBR

合成ゴムEPR
エスプレン®

エチレン酢酸ビニル
塩化ビニル共重合樹脂
スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号(新名古屋ビル東館5階)
電話(052)581-1581(代)

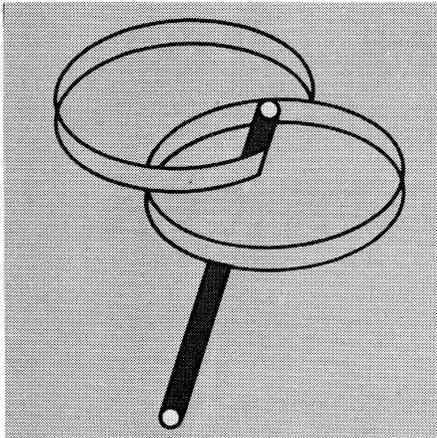
残暑お見舞申し上げます

'82プラスチックフェア 21世紀への飛翔 岐阜

企業の活性化を図り
団結して
プラスチック産業展を
成功させよう!!

岐阜県プラスチック
工業組合役員一同

昭和57年9月



品質と技術の工業部品専門メーカー

武藤合成株式会社

代表取締役 武藤 昭三

本社工場 各務原市蘇原村雨町3の46
TEL <0583> 82-4361 (代)

岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松 幸栄

本社 岐阜市神田町9丁目25 (大岐阜ビル6F)
TEL <0582> 65-2233 (代)

株式会社

東海ポリエチ工業所

取締役社長 大野 繁俊

本社工場 羽島郡岐南町野中字州崎
TEL <0582> 46-1313 (代)

合資会社

田中化学工業所

代表取締役 田中 弘一

本社工場 関市小屋名520
TEL <05752> 8-2077

ひまわり印家庭用雑貨

東和化成株式会社

代表取締役 納土 栄一郎

本社・工場 岐阜市前一色3丁目5番16号
TEL <0582> 45-5528 (代) 〒500
東京営業所 東京都中央区新富1丁目5番12号
TEL <03> 551-6300 〒104

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器

天龍工業株式会社

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1
TEL<0583>82-4111(大代)

大垣プラスチック 工業株式会社

取締役社長 日比正隆

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
TEL<0584>81-1347(代)
名古屋営業所 名古屋市東区代官町2-4
TEL<052>932-3945(代)

岐阜技研ポリマー 株式会社

代表取締役 篠田 哲

本社 岐阜市長森岩地465の1
TEL<0582>45-8348
本社工場 岐阜市長森岩地清水145
TEL<0582>46-2541

合成樹脂原料製造販売
委託加工及カラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田博司

本社 岐阜県美濃市上条62-1
TEL<05753>3-1888

コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役 児玉庄一

岐阜県安八郡神戸町末守377の1
TEL<058427>4141番(代表)

名古屋三光合成樹脂工業株式会社

岐阜工場

取締役工場長 米谷元則

名古屋市南区鳥栖町2丁目93番地
TEL<052>822-1325番(代)
岐阜工場 岐阜県安八郡安八町森部2454の1
TEL<058464>代表 3388番

関化成工業有限会社

代表取締役 林 光夫

本社 関市東町4の9の1
TEL<05752>2-1545(代)

工場 関市ひかり町
TEL<05752>2-4904

厚見プラスチック 工業有限会社

代表取締役 真鍋義雄

本社 岐阜市上川手498番地
TEL<0582>45-1245



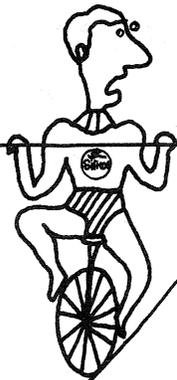
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、弊案のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

信越ポリマー

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら
ではの、**離れ技**。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

<特長>

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を傷しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511(代)

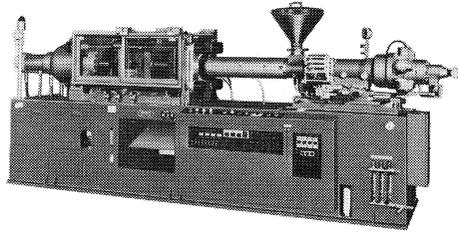


●80年代テーマ

時代を「射る」

高速精密汎用射出成形機 SEシリーズ

「高附加価値成形」と「省エネルギー」の両機能を兼ね備えた80年代の射出成形機です。省電力対応型の電子コントローラによって、射出・型締および油圧など各機構をデジタル制御。とりわけ油圧機構には新機軸の油圧回路SSEシステムにより、油圧の動力損失を最小限に抑えて、消費電力を大幅に減少させました。省電力効果は40～70%（製品により異なる）と極限を追求したものです。



NISSEI 1歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場・長野 飯坂町 電話 (02688) 2-3000 (大代表)
営業所・東京 ☎ 03-357-7541 (代表) 大阪 ☎ (06) 693-7881 (代表)
名古屋 ☎ (052) 732-0261 (代表) 長野 ☎ (02688) 2-3000 (代表)
出張所・全国27ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所 (21ヶ国)
岐阜出張所 岐阜市茜部4962-1 (茜ビル) ☎ (0582) 72-5952



伊藤忠商事株式会社

名古屋支社 エネルギー化学品部合成樹脂課

名古屋市中区錦一丁目5番11号
〒460-91 名古屋中郵便局私書箱10号
電話 (052) 203-2481~2488

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

発見と発明

ゆたかな生活環境をクリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を...



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 千103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 仙台営業所 ☎(022)66-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS



三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

^{RLU}
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮